

単元名「うみと あそぼう」

1. 子どもの問題意識

金沢小学校は「マリンフェスタ」があるんだって。海の公園で砂遊びや潮干狩りをするらしいよ。海の公園に早く行きたいな。海で遊びたいな。

2. 単元意図

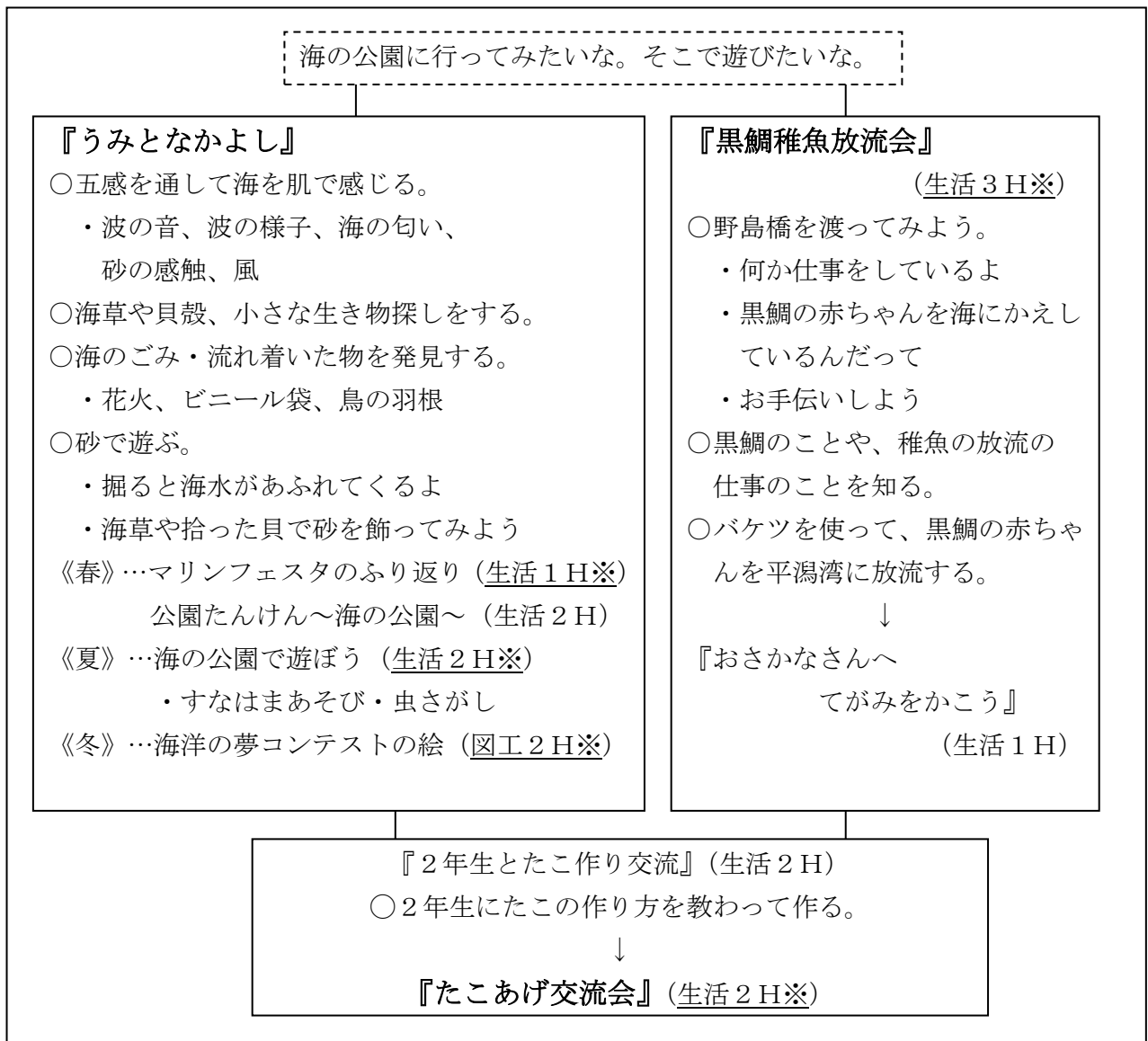
学区には海と山があって、ここに住んでいる人たちはもちろん金沢小の子どもたちも自慢に思っている。その海で体をいっぱい動かせたり、五感を働かせて季節の変化を感じたり、また野島橋を渡って平潟湾で働く方々との出会いや交流を通して、さらに学区への愛着を育みたい。

3. 単元目標

海とふれあい、遊びを通して海への関心を高め、進んで親しもうとする。

4. 基本構想図

「うみと あそぼう」(『横浜の時間』※10時間)



単元名 「海からのたからもので」

1. 子どもの問題意識

私たちの学校のそばには海があるね。マリンフェスタやマラソンフェスタでも、海の公園に行くよ。砂浜をたんけんすると、いろいろなものがあるから、砂浜でたくさん遊んでみたいな。

2. 単元の意図

砂浜には、さまざまなものが流れ着いて、またいろいろな生物もそこで生活している。それらを自分の生活に取り込みながら、自分たちの生活を振り返る素地をはぐくんでいきたい。

私たちの住む学区には、海があることがまちの特色であることに気づき、海で拾った物で造形活動を通して、海に親しみと愛着をもってもらいたい。(公・開)

3. 単元目標

海に主体的にかかわり、自分の思いや願いをもって造形活動を通して、自然の豊かさや美しさ、砂浜の楽しさを味わい、海への愛着をもつことができる。

4. 基本構想図

「海からのたからもので」 (『横浜の時間』 17時間)

一年生のときみたいに、海で遊びたいな。

「まちたんけん」で「海の公園」も計画に入れよう。

1 「海の公園」をたんけんしよう。

○砂浜で遊ぼう。

- ・掘ると海水があふれてくるよ。
- ・砂の団子を作ったよ。
- ・山を友達と掘ったら、手がつながったよ。
- ・砂に足を埋めたら気持ちいいよ。

○どんなものができたのか、みんなで見てみよう。

- ・大きな砂山ができたね。
- ・貝殻の飾りがかわいいね。
- ・海水がたまって池みたい。

(図工3時間)

2 砂浜でたからものをさがそう。

○お気に入りの貝殻を見つけよう。

- ・貝殻一つひとつの様子がちがうね。
- ・巻き貝を見つけたよ。

(図工2時間)

3 見つけた宝もので、ランプを作ろう。

- ・瓶に紙粘土で貝がらをつける。
- ・最後に、ライトを中にいれる。

(図工2時間)

4 「海のたからもので」で作ったランプを、みんなに見せよう。

- ・「アートフェスタ」でランプを展示して、友達のよいところを見つけよう。

(図工1時間)

5 「海洋の夢コンテスト」の絵をかこう。

- ・夢の海をかこう。

こんなことができたらいいな。

(図工2時間)

6 冬の砂浜では、どんなことができるかな。「1・2年なかよしたこあげ大会」をしよう。

- 凧を作るための説明書を作ろう (国語2時間)
- 1年生にたこの作り方を教えてあげよう。(生活2時間)
- 海の公園の砂浜で、1年生と一緒に凧揚げをしよう。(生活2時間)
- ふりかえりをしよう。(国語1時間)

単元名「海の生き物」

1. 子どもの問題意識

私たちのまちは、海に近いね。マリンフェスタも楽しかったよ。潮干狩りでは、あさをたくさん見つけたよ。イカの甲羅や海藻類も見つけたよ。

まちたんけんをしながら生き物を取りに野島も行ったね。網や箱めがねなどの道具を使いながら観察しよう。

そういえば、八景島シーパラダイスにも海の生き物がたくさんいるね。生き物についても詳しいだろうから話を聞いてみよう。

2. 単元の意図【環境・まちの特色】

今まで何気なく見過ごしてきた、自分たちの傍に存在している海。その海で楽しく遊び、学習の中で生き物観察などをする中で、そのありがたさや魅力を感じていく。海の魅力を守っている人たちとの出会いや、自分たちの力でも、魅力アップ活動に取り組んでいくことを通して、自分たちのまちのものを、自分たちの手で大切に守っていくことの意義を感じさせたい。身近な人たちとコミュニケーションをとりながら活動を深めていく子ども達の姿に期待する。

3. 単元目標

野島海岸での、生き物観察や水族館の飼育技士からの聞き取りなどの活動を通して、まちの様々な人たちが、よりよい海にするために努力していることに気づき、自分たちも野島海岸、海の公園に関わる活動に、進んで取り組もうとする。

4. 身に付ける資質・能力・態度

学習方法に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○砂浜での遊び体験や、生き物観察等の学習体験の中から、海の魅力やその利用について課題を見つけ、解決への見通しをもって計画を立てる。 ○海の生き物や干潟の魅力やそのよさを、発表会で披露するため、わかりやすくまとめ表現する。
自分自身に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ○自慢の干潟に気づく活動を通して、探求活動の楽しさや、自分自身の成長を実感する。 ○自分のもっている知識や技能を海の魅力アップのための活動に活用し、進んで探求する。 ○干潟の生き物の魅力発見という自分たちの思いの実現に向けて、自分のやるべきことを決定する。
他者や社会とのか かわりにするこ と	<ul style="list-style-type: none"> ○活動の中で干潟利用者の方々と関わる中で、礼儀正しく行動したり、感謝の気持ちをもったりする。 ○自分も干潟のための活動に取り組める一人であることに気づき、干潟の魅力アップ活動など、自分ができる貢献活動に進んで取り組む。

5. 関連する教科等

教科等名	学 習 内 容	時間数
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関心のあることから話題を決め、必要な事柄について調べ、要点をメモすること ・ 司会や提案などの役割分担をしながら、進んで話し合いや発表をする。 	4
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身の回りの生物の様子を調べ、生物とその周辺の環境との関係についての考えをもつこと。 	6

道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・ 礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心をもって接する。 ・ 自然のすばらしさや不思議さに感動し、自然や動植物を大切にする。 ・ 約束や社会のきまりを守り、公德心をもつ。 	3
----	---	---

6. 基本構想図

「海の生き物」 (『横浜の時間』55時間)

1 海の公園の自然観察に出かけよう (総合17時間・理科6時間・国語2時間・道徳1時間)

- 学級での事前学習を基に、身近な海の自然観察について計画を立てる。
- マリンフェスタで海の公園の生き物を見付ける。
- 小さな生き物や貝類の特徴を観察し、活動の見通しをもつ。
- 生き物とその周辺の環境との関係について考える。
 - ・ 小魚やカニ、アサリや海草など
- 野島海岸に行き、生き物を見付ける。
 - ・ 飼育技士の野村さんと一緒に生き物を見付ける。

野島海岸で、魚やカニ、たくさんの海藻を見つけた。砂浜や干潟には貝殻があって、あさりにはいろいろな模様があったよ。干潟にもいろいろな魚や貝がいるなあ。干潟って遊ぶだけでなく、自然観察もできるね。地域の人が浅瀬で遊んでいたよ。野島海岸は、多くの人が利用している。海の生き物にとっても大切な海岸。干潟はまちの宝だ。野島海岸は、横浜で唯一の自然海浜なんだ。

2 横浜で見られる海の生き物について調べよう (総合10時間・道徳1時間)

- 調べ学習の計画をたてる。
- 魚・エビ・カニ・貝などグループ別に調べる。
- 八景島シーパラダイスの野村さんに自分たちの調べている情報が正しいか、さらに生き物について情報を教えてもらう。

他にもどんな種類の生き物がいるのだろうか。
それぞれの特徴は何だろうか。危険な生物もいるのかな？

3 調べたことをまとめて発表会をしよう (総合15時間・国語2時間)

- ～分かったことをまとめ、オープンスクールで保護者に発表しよう。～
- 発表する内容 (干潟に棲む生き物、海の環境、使用している人など)
 - 発表方法
 - ・ パソコンを使って画像を表示
 - ・ 生き物クイズ 貝あてゲーム

野島海岸には、予想以上にたくさんの生き物がいたよ。海の公園に飼育技士の野村さんから貝やカニの種類や分からない生き物について、詳しく教わることもできた。資料やパソコンを使って、自分なりにもっと調べてみたい。この活動を通して分かったことを、お家の人や地域の人たちにも知ってもらいたい。今度のオープンスクールで、発表会をしよう

7. 指導計画

横浜の時間 5 5時間 【 総合 4 2時間・国語 4 時間・理科 6 時間・道徳 3 時間 】

活動内容	時間数	指導のポイント・関連する教科等
<p>1 身近な海に出かけよう</p> <p>○学級での事前学習を基に、身近な海の自然観察について計画を立てる。</p> <p>○マリンフェスタで海の公園の生き物を見付ける。</p> <p>○小さな生き物や貝類の特徴を観察し、活動の見通しをもつ。</p> <p>○生き物とその周辺の環境との関係について考える。</p> <p>・小魚やカニ、アサリや海草など</p> <p>○野島海岸に行き、生き物を見付ける。</p> <p>・飼育技士の野村さんと一緒に生き物を見付ける。</p>	<p>総合 ⑩ 理科 ⑥</p> <p>道徳 ① 国語 ②</p> <p>総合 ⑦</p> <p>道徳 ①</p>	<p>・社会科で海の公園の位置を調べる。</p> <p>理科：海の公園で見つけた生き物を調べる。</p> <p>・生き物が観察可能な砂浜を探検コースに設定する。事前に安全確認を行う。</p> <p>道徳：公衆マナーを遵守するように指導する</p> <p>国語：アンケートやインタビューを行う。</p> <p>・生き物みつけから次の活動につながる気づきを大切にする。</p> <p>・生き物の名前と特徴を野村さんからその場で教えてもらう。</p> <p>道徳：小さな命を大切にしようとする。</p>
<p>2 海の生き物について調べよう</p> <p>○調べ学習の計画をたてる。</p> <p>○魚・エビ・カニ・貝などグループ別に調べる。</p> <p>○八景島シーパラダイスの野村さんに自分たちの調べている情報が正しいか、さらに新しい生き物について情報を教えてもらう。</p>	<p>総合 ⑩</p> <p>道徳 ①</p>	<p>・調べ方、発表方法について助言する。 (補) 具体的行動が想起できない子どもには、観察カードやインタビューの記録などを参考にするように指導する。</p> <p>道徳：約束や社会のきまりを守り、公德心をもつことの大切さを学ぶ。</p>
<p>3 海の生き物について発表しよう</p> <p>～分かったことをまとめ、オープンスクールで保護者に発表しよう。～</p> <p>○発表する内容（干潟に棲む生き物、海の環境、使用している人など）</p> <p>○発表方法</p> <p>・パソコンを使って画像を表示</p> <p>・生き物クイズ 貝あてゲーム</p>	<p>総合 ⑮</p> <p>国語 ②</p>	<p>・記録したことを整理・分析し、野島海岸の魅力を分かりやすくまとめる。</p> <p>国語：どんなことを発表するか話し合う。調べたことをもとにスピーチメモを作る</p>

単元名「金小アマモ場を作ろう」 ～アマモのことを多くの人に知ってもらおう～

1. 子どもの問題意識

3年生では、「海の生き物」をテーマに学習してきた。海の公園や野島へ出かけ、生き物を採集する活動を通して、海の生き物に興味をもった。それらの生き物について調べたりする活動を通して、海の環境にも目を向けることができた。また、八景島シーパラダイスや金沢漁港の方々との触れ合い、様々な体験をしてきた。

4年生になり、海の生き物について、もっと知りたいという思いと、海の生き物を守るためにアマモについても詳しく知りたいという思いが強くなった。アマモが大切な役割を果たしていることを知っていた子ども達は、アマモを育ててみたいと考えるようになった。アマモの種をどのように手に入れるか、学校の中で育てることができるのかなど、様々な問題が生まれた。さらに、アマモ場に集まる生き物についても調べることで、アマモ場の役割も再確認できると考えた。調べたことを地域の方や他の小学校のみんなに伝えることで、アマモ場を増やそうと思う人が増えるといいなあという思いがある。

2. 単元の意図

アマモは「海のゆりかご」と呼ばれている。アマモが増えることで、たくさんの生き物が集まり、海の環境が改善される。アマモについて調べたり育てたりする中で、海草が二酸化炭素を吸収し、酸素を作り出していることにも気付くことができる。また、アマモ場を守り、増やすために、努力している方々がいることにも気付くだろう。アマモを育てる活動は、地域のイベントとしても行われている。子どもたちが地域の活動に積極的に参加し、地域の方との交流を通して、より多くのことを学ぶとともに、学区の海を自分たちの力で守りたいという思いをもってほしいと考える。

3. 単元目標

アマモを育てる活動を通して、アマモの役割を理解し、海の環境を守る人々の思いや取組に気付くとともに、自分たちができることを考え、自然を大切にしようとする心情を育てる。

4. 評価規準

学習方法に関すること	<ul style="list-style-type: none">① アマモや海の環境について興味や疑問をもち、課題を見付け、解決への見通しをもって計画を立てている。② アマモや海の環境について調べたり、体験したりして、見付けた課題を解決するために、必要な情報を考えながら収集している。③ アマモや海の環境についてのさまざまな情報を整理したり、比較したり、関連付けたりして考えている。④ 相手に伝わるように、分かりやすくまとめ、表現している。⑤ 身に付けた力を教科等の学習や生活で生かしている。
自分自身に関すること	<ul style="list-style-type: none">① アマモや自分のもっている知識や技能を課題解決のために活用し、進んで探究している。② 自分の生活を振り返り、よりよくしようとして行動している。③ 水族館作りや海の環境に関する課題解決に向けて、自分のやるべきことを決定している。
他者や社会とのかかわりに関すること	<ul style="list-style-type: none">① 自分と違う考えや意見があることを認めている。② 仲間と力を合わせて、課題の解決に取り組んでいる。③ 自分と地域とのつながりに気付き、地域の活動に進んで参加している。④ 思いを伝え合い、様々な人々と交流している。

5. 関連する教科等

教科	学習内容	時間数
国語	<p>「新聞を作ろう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞の特徴と作り方を知り、記事にすることを決め、伝えたいことが明確になるように文章を書く。 <p>「調べて発表しよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関心のあることなどから話題を決め、必要なことを調べて要点をメモする。 ・相手や目的に応じ、理由や事例などを挙げながら、筋道を立て話し方の工夫を考えて話す。 	6時間
社会	<p>「健康なくらしとまちづくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物処理に関心を持ち、それらを意欲的に調べ、地域社会の一員としての自覚をもつ。 ・廃棄物処理の様子から、学習問題を見出し、追究するなかでその役割を適切に判断し、調べた結果などを表現する。 ・廃棄物処理の様子を的確に見学したり、調査したりする。 ・廃棄物処理の対策や事業は地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解し、そのために法やきまりごとが定められていることを理解する。 	3時間
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・動植物の生態や自然の仕組みに興味を持ち、動植物や自然を大切にしようとする態度を育てる。 ・公共のために働く人々の苦勞を知り、尊敬し、感謝しようとする心情を育てる。 	2時間

6. 基本構想図

「金小アマモ場を作ろう」～アマモのことを多くの人に知ってもらおう～

(『横浜の時間』総合23 国語5 社会3 道徳2)

1 アマモについて調べ、アマモを育てよう

- アマモの種まきイベントに参加する。

学校でアマモを育ててみたい。種まきイベントに行って、アマモの育て方を教えてもらいたい。アマモの種はすごく小さい。種をまくときは、3～5個ずつまくといいんだね。種をまいたプランターを海水に入れてあるよ。

- アマモの専門家に育て方をきく。

アマモは寒い時期に種まきをしないといけないんだね。アマモの育て方をクラスみんなに教えたい。

- 苗床を作って、種まきをする。

アマモの芽はいつ出てくるんだろう。芽が出てくるのが楽しみだ。アマモの芽はどんなふうに出てくるのかな。芽が出てきたら、観察してみよう。どのくらいの大きさに成長するのか。

2 アマモ場に集まる生き物について調べ、金小アマモ場でも飼おう

- アマモ場に集まる生き物を調べる。

アマモを育てている水槽で魚は育てられないのかな。アマモ場に集まるのはどんな魚だろう。アマモの水槽に入れていい生き物はあるのか調べてみたい。

3 ワカメを育てよう

- アマモ以外の海藻を育てる。

アマモ以外のものを育ててみたい。八景島シーパラダイスでワカメが育てられるらしいよ。ワカメをそだててみたい。

- ワカメについて教えてもらう。

アマモとワカメの違いについて教えてもらったよ。同じ「かいそう」でも漢字が違うんだね。どちらも光合成をして酸素をだしているんだね。

- ワカメの植え付けをする

アマモは種を植えたけど、ワカメに種はなかったよ。ワカメの赤ちゃんはすごく小さい。わかめはロープの間にはさんで育てるんだね。ワカメが収穫できるのは、いつ頃なんだろう。ワカメも寒い時期に植えるんだね。

4 調べたことを多くの人に伝えよう

- 調べたことを伝える。

アマモを育てて分かったことを低学年や地域の方にも知ってもらいたい。いろいろな人に伝えるには、どんな方法がいいのかな。新聞はたくさんの人に見てもらえるよ。

7. 指導計画 【総合23 国語5 社会3 道徳2】

活動内容	時間数	指導のポイント・関連する教科
○3年生の活動を振り返ろう。	総合1	
○4年生では、どんな活動をしたのかな。	総合1	・子どもたちがこれからの学習に意欲的に取り組めるように、子どもたちの経験や知識を大切にする。
○アマモの育て方を調べよう。 ・アマモの種まきイベントに参加。	総合3	・子どもたちの調べ学習が進むように、教師も事前に資料を用意しておき、必要に応じて提示する。
○苗床を作り、種まきをしよう。	総合2	・事前にアマモ場再生会議の方に種を譲ってもらえるようお願い。
○専門家に聞いてみよう。 (アマモ場再生会議の方・柴漁港の齋田さん) ・アマモの役割について・アマモのよりよい育て方	総合2 国語1 社会3	社会「健康なくらしとまちづくり」
○アマモ場に集まる生き物について調べよう。 ・アマモと共存する生き物	総合3 道徳1	道徳「自然の大切に」
○アマモ以外の海藻も育ててみよう。 ・八景島シーパラダイスにてワカメの植え付け	総合3 総合2	・おうちの人や地域の人に水族館を見てもらうために、具体的な活動内容を話し合う。
○金小アマモ場でも生き物を飼おう。 ・どんな生き物がいいかな？	国語4 総合2 総合1	
○ワカメの収穫に行こう。	総合2 道徳1	道徳「ありがとう」
○育てたアマモをどうするか考えよう。	総合1	・今後について考える。

単元名「海の力」～作って食べよう！5年の金小米～

1 子どもの問題意識

わたしたちの学区には、多くの生き物が棲息する豊かな海が広がっている。今まで育ててきたお米を、地元の海の力をかりて、さらにおいしく食べる方法はないかと考えた。「お米と言えばおにぎり」ということで、海苔と塩を作りたいと思うようになった。米・海苔・塩のすべてを自分たちの手で作り、「絆金米おにぎり」にして食べたいという思いをもって活動した。海苔の生産をしている方が近くにいる。給食にも野島の海苔が出ている。自分たちの食にも地元の海と深いつながりがあることを感じるができるだろう。

2 単元の意図

「絆金米作りに挑戦」の学習と関連させて、地元の海苔や塩といった海の生産物に目を向けさせる。実際に海苔作りや食塩作りを体験し、自分たちの地域で育まれている豊かな海の力と食とのつながりを考えさせたい。そして、米や海苔、食塩を実際に作ってみることで、一つひとつの食べ物を食するまでの長い年月や、多くの人たちの願いのもと育まれるものであることに気づき、よりよい食生活を送ろうとする姿を期待している。

3 単元目標

自分たちの地域で生産されている海苔や食塩に目を向け、それを生かした調理方法などを考えて実際に食し、それまでの苦労や「食」の大切さを実感するとともに、自分たちの食生活を見つめ直し、よりよい食生活を送ろうとする思いをもてるようにする。

4 身に付ける資質・能力・態度

学習方法に関する こと	○課題を見付け、解決への見通しをもって計画を立てる。 ○資料や図鑑、パソコンなどで情報を収集し、取捨選択して学習に役立てる。 ○米や海苔の生産の取組みや努力、工夫などをまとめ表現する。
自分自身に関する こと	○海苔を使った料理の調べ活動を通して、探求活動の楽しさや、自分自身の成長を実感する。 ○自分のもっている知識や技能を調べまとめる活動に活用し、進んで探求する。 ○自分たちの思いの実現に向けて、自分のやるべきことを決定する。
他者や社会との かわりに関する こと	○仲間と力を合わせて米や海苔、それらを生かした料理に関する課題の解決に取り組む。 ○海苔漉き体験の学習において、とも浜の方々と関わる中で、礼儀正しく行動したり、感謝の気持ちをもったりする。 ○自分も生産者の一人として、食するまでの苦労や「食」の大切さに気づき、よりよい食生活を送るために工夫したり、周りにむけてPRして呼びかけたりする。

5 関係する教科等

教科等名	学習内容	時間数
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・関心あることから話題を決め、必要な事柄について資料やインターネットで調べ、要点をメモする。 ・文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりする。 	5
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・米の生産に必要な機械や設備、働く人たちの努力や工夫について調べ、生産工程を知るとともに食生活とのつながりについての考えをもつ。 	3
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・熱して水分を蒸発させた水溶液から塩の結晶を析出する。 	2
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心をもって接する。 ・約束や社会のきまりを守り、公德心をもつ。 ・海の力にすばらしさに感動し、自然を大切にす気持ちをもつとともに、自分の食生活を見つめ直し、よりよい食生活を送ろうとする。 ・安全な調理のしかたや衛生面での約束に気を付ける。 	2

6 基本構造図

「海の色を感じよう」(『横浜の時間』30時間)

1 自分たちで育ててきた絆金米をよりおいしく食べよう！

○これまでの「絆金米でおにぎり大作戦」の学習をもとに、これからの学習計画を立てる。

- ・頂いた苗を植えて、自分たちで米を育ててみたい
- ・できたお米を炊いて、食べてみたい

絆金米づくりに挑戦！ ～絆金米でおにぎりをつくろう！～

○刈り取った稲を脱穀→もみすり→精米する。残った藁の活用を考える。

○調べたことを記録し、発見したことを発表し合う。

すり鉢と野球ボールでもみすりができるらしい。

もみすりしたら、米の量が少なくなったよ。

塩を作って、おにぎりをおいしく食べたい。

2 食塩を作ってみよう！

○これまでの学習とも関連付けて、昔このあたりが塩田だったことから、塩作りについて興味をもつ。

○食塩の生産工程などについて、資料やインターネットから分かったことをまとめ、話し合う。

- ・海の公園の海水は汚いから、食塩作りには向いてないと思うよ。
- ・漁港の方をお願いして、沖の海水を汲んできてもらえないだろうか。

3 海苔の生産について調べよう！

- 社会科「食料生産について調べよう」の学習とも関連づけて、興味をもった課題や海苔の生産における共通点や相違点について調べる。
- 海苔の生産工程などについて、資料やインターネットから分かったことをまとめ、話し合う。
 - ・自分たちの住む地域で海苔が生産されているんだね。
 - ・給食の献立にも、野島の海苔を使った佃煮などが出されて食べたよ。

4 自分たちで海苔を作ってみよう！

- 海苔の生産行程を知り、実際に海苔を作る。

ねらい

地元の生海苔を使って海苔を作るという自分たちの思いの実現に向け、実際に作り食すことを通して、自分も生産者の一人として食するまでの苦労や「食」の大切さに気づく。

《海苔づくりの行程》

- ① 生海苔を細かく切る…包丁を両手にもち、海苔を細かくたたき切る。
- ② 海苔すきをする…紙すきの要領で、海苔を均一に木枠に流し込む。
- ③ 海苔を乾かす…巻き簾を金網にかけ、天日干しをする。
- ④ 海苔を取り込む…乾いた海苔を巻き簾から外す。食べる時はあぶる。

- ・すべて手作業で海苔をつくるのは、大変な作業だと分かったよ。
- ・均一に木枠に流すのには、練習が必要だな。
- ・海苔すきは難しい。海苔づくり職人の人たちはすごい技術をもっているんだな。
- ・海苔が乾いていくとき、パチパチ音がするなんて知らなかったよ。
- ・海苔の種ってどんなのかな。
- ・昔は手作業だけど、今は機械でつくっているよね。どんな仕組みになっているんだろう。

- 海苔の生産を営む方たちの努力や工夫、体験を通して分かったことをまとめ、話し合う。

5 絆金米おにぎりパーティーを開こう！

- 「おにぎりパーティー」の計画を立て、調理の流れや必要な準備を進める。
- 家庭科の授業を生かし、「金小米おにぎりパーティー」を成功させる。

自分で作った海苔は、いつも食べている海苔より、磯の香りがすごくしたよ！

食べるのは簡単だけど、つくるのは手間と時間がかかって大変だな。

自分で作った海苔を家の人やお世話になった人にも食べてもらいたい！

7 指導計画

横浜の時間 時間【総合15時間・社会3時間・国語5時間・道徳2時間】

活動内容	時間数	指導のポイント・関連する教科等
<p>1 自分たちで育ててきた絆金米をよりおいしく食べよう！</p> <p>○育ててきたお米と地域の海の力とのつながりをもとに活動の計画を立てる。</p> <p>○調べたことを記録し、気づきや疑問を発表し合う。</p>	<p>総合2</p> <p>国語1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・お米の育成だけで終わることのないよう、活動のめあてを確認する。 ・地域の海から生産されるものを調べ、整理して記録するように助言する。 ・記録したことを整理・分析し、地域の海からの生産物について気づきや疑問を分かりやすくまとめる。 ・互いの意見を共有できるように指導する。
<p>2 海苔の生産について調べよう</p> <p>○社会科「食料生産を支える人々」にからませ、海苔の生産における調べたい課題を決める。</p> <p>○資料やインターネットから分かったことをまとめ、発表する。</p>	<p>社会3</p> <p>総合4</p> <p>国語2</p>	<p>社会：「食料生産を支える人々」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業の学習を参考にしながら指導する。 <p>国語：収集した資料を使い、説明文を書く。</p>
<p>3 自分たちで海苔を作ってみよう！</p> <p>○海苔の生産工程を知り、実際に海苔を作る。</p> <p>○海苔の生産を営む方たちの努力や工夫、体験を通して分かったことをまとめ、話し合う。</p>	<p>総合6</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットの使い方など、調べ方を指導する。
<p>4 絆金米おにぎりパーティーを開こう！</p> <p>○「おにぎりパーティー」の計画を立て、調理の流れや必要な準備を進める。</p> <p>○家庭科の授業を生かし、「おにぎりパーティー」を成功させる。</p> <p>○活動を新聞まとめる。</p>	<p>総合5</p> <p>道徳1</p> <p>国語1</p>	<p>道徳：礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心をもって接する態度を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海苔が生きるメニューにするように助言する。 <p>国語：収集した資料を使い、説明文を書く。</p> <p>道徳：地域の海の力に感動し、地域のよさを見つめ直す心を育む。</p> <p>道徳：食べ物への感謝の気持ちを持ち、よりよい食生活を送る思いをもてるようにする。</p>

単元名「海の命～深海から地球のなぞにせまる～」

1. 子どもの問題意識

6年間慣れ親しみ学んできたわたしたちの海は、いったいどこから流れてくるのだろう。その先をすすんだ深海とはどんな世界なのだろう。どんな生物がすんでいるのだろう。深海の不思議について、専門家に聞いてみたい。海洋研究開発機構ではどんな仕事をしているのかな。

2. 単元の意図

海の環境を総合的にとらえ、さらに海に関する視野を広げる。海の水が山から川をつたって注いでいることを実感し、その海は深海へつながることをとらえる。また、海洋研究開発機構の方々と協力して学習を進め、水圧や温度の高い環境にも生物が存在していること、水中深くに存在する海底が動いて地震が発生することなど、自分たちの生活と一見無関係に見える深海との関わりについて気付いてほしい。また、別の角度から海を考えることで、自分たちの海についてもう一度考えてほしい。

3. 単元目標

深海についての疑問から課題をもち、自分たちで探求したりする活動を通して、自分と他者との関わりや自分と自然との関わりに気づき、海の環境を守ることの大切さに気付く。

4. 身に付ける資質・能力・態度

学習方法に関すること	深海について学ぶ中で課題を見つけ見通しをもって活動計画を立てる。
自分自身に関すること	深海の活動や地震や津波のつながりについて探求する活動を通して、自分とのつながりや生命を尊重する態度を育む。
他者や社会とのかかわりに関すること	地域の方々から学んだり友達と探求したりしていくことで、さまざまな人々の交流を深め、感謝の気持ちをもったり、自分のよさや友達のよさに気づいたりする。

5. 関連する教科等

教科等名	学習内容	時間数
理科	生物と環境のかかわりについて理解し、環境を保全する態度をもち、生物と環境の関わりについての見方や考え方をもち。	5
道徳	働くことの意義を理解し、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役立つことをする。	2

6. 基本構想図

「海の命～深海から地球のなぞにせまる～」(『横浜の時間』35時間)

1 わたしたちの海はどこから (総合5時間)

- 海苔づくりは自然の海の力が必要だった。わたしたちの海の水はどこから流れてくるのだろう。地図で探してみよう。
- 源泉をたどって、川をのぼって見に行こう。



2 深海について調べよう (総合2時間)

- 流れついた海の水は、その後どこへ流れていくのだろう
- 蒸発してまた雨になる。深海へ流れていく。対流にのり世界の海へ行くのでは。
- 津波のメカニズムについてもっと詳しく知りたい

3 深海について教えてもらおう (総合15時間 道徳2時間)

※各講義終了後、ワークシートに「講義で分かったこと」「感想」「次回テーマについて知りたいこと」を書く。

- 海洋研究開発機構の紹介 (講師：田村貴正先生)
 - ・海洋研究開発機構の活動を中心に、最新の海洋科学技術を紹介する。深海の水圧を実感するための実験をする。
- 深海から知る地震・津波 (講師：満澤巨彦先生)
 - ・地震や津波が起こるメカニズムや、地震や津波の強さをどのように計測するかを解説する。
- 三浦半島とプレート (講師：小俣珠乃先生)
 - ・三浦半島や身近な山は深海でプレート同士が押されてできていることを解説する。
- 海洋生物 (講師：監物うい子先生)
 - ・海にすむ生物やその生態を、実物を示しながら紹介する。
- 深海探査 (講師：田代省三先生)
 - ・海洋研究開発機構が所有する海洋調査船・潜水船・探査機の簡単な紹介や、調査船の特徴及び深海の調査方法についての解説をする。
- 海洋研究開発機構横須賀本部見学



4 海的环境について考えよう (理科5時間)

- 海的环境について話し合い、自分の考えを形成し、表現方法を工夫してまとめる。